

## 公益社団法人日本地理学会投稿規程

2012年4月

### (目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本地理学会（以下「本会」という。）の学会誌である「地理学評論」への投稿及び学会誌の編集に関する基本的な事項を定めるものである。

### (編集委員会)

第2条 学会誌の編集は、編集専門委員会（以下「編集委員会」という。）が担当する。

2 編集委員会は、本規程及び執筆要領に定める投稿原稿（以下「原稿」という。）のほかに、必要に応じて寄稿を依頼することができる。

3 学会誌の体裁、年間の発行回数、及び執筆要領等は、理事会が別に定める。

### (著作権)

第3条 すべての著作権は、本会に属する。

### (著 者)

第4条 原稿の著者（連名の場合には筆頭著者）は、本会の正会員又は名誉会員とする。ただし、編集委員会が特に認めた場合にはこの限りではない。

### (原稿の種類及び長さ)

第5条 原稿の種類は、執筆要領で定める。

2 原稿の種類に応じて、原稿の長さの上限を執筆要領で定める。

### (原稿の提出)

第6条 原稿の提出方法は、執筆要領で定める。

2 受理された原稿は返却しない。ただし、図表・写真のオリジナルは提出時に申し出があれば返却する。

### (原稿の採否)

第7条 投稿された原稿は、編集委員会が掲載の可否を決定する。

### (校 正)

第8条 著者校正は初校のみとする。著者校正時の加筆等は原則として認めない。

### (著者の負担)

第9条 掲載された原稿については、50部を単位として別刷を作ることができる。その経費は、別に定める内規により、著者が負担する。ただし、受理された年度の4月1日に著者（連名の場合には著者全員）が学生会費納入者であった場合には、100部までを無料とする。

2 原稿の長さが上限を超過した場合には、別に定める内規により、著者が超過分の経費を負担する。

3 カラー印刷等の特殊な印刷を必要とした場合、著者校正により経費増となった場合、編集委員会が必要と判断して図の版下を作成し直した場合や特別に英文の校閲を依頼した場合には、編集委員会はそれらの経費を著者に請求することができる。

### (改 廃)

第10条 この規程の改廃は理事会が行う。

## 閲読に関する内規

2012年4月

この内規は、公益社団法人日本地理学会投稿規程及び地理学評論和文原稿執筆要領・地理学評論英文原稿執筆要領に基づいて、地理学評論に投稿された論説などの原稿の閲読に関する一般的な手順を定めるものである。

1. 編集専門委員会（以下編集委員会という。）は、委員全員の合議により、投稿原稿ごとに、編集委員以外の2名の閲読者を選出して閲読を依頼するとともに、担当編集委員（以下担当委員という。）を定める。
2. 閲読者の氏名は、編集委員会以外には非公開とする。
3. 閲読者及び担当委員は、内容及び構成に関する次の諸項目に留意して原稿を検討し、所定の様式に基づく記入、自由記述、原稿への書込みなどにより、閲読意見をまとめる。  
(1)目的・主題の明確さとオリジナリティ (2)方法・手法の的確さ、データの充足度と考察の的確さ  
(3)論文としての構成 (4)文章・語句の表現 (5)注・引用の方法 (6)図・表の表現
4. 閲読者及び担当委員は、前項の意見とともに、次の基準に基づく総合的な判定を、編集委員会に報告する。  
(1)このままで掲載可 (2)ごくわずかな修正で掲載可 (3)多少の修正で掲載可  
(4)大幅な修正が必要 (5)根本的に問題があり、掲載は不適當
5. 編集委員会は、これらの報告に基づいて、委員全員の合議により最終的な閲読意見及び判定を決定し、著者に伝える。
6. 著者は、編集委員会の閲読意見及び判定に基づいて、必要に応じて原稿を修正し、再投稿する。ただし、編集委員会の閲読意見及び判定を受け入れ難いと著者が判断した場合には、理由を付して編集委員会にその旨申し立てることができる。
7. 著者が再投稿する場合には、再投稿原稿とともに、著者に返却された前回投稿原稿も提出する。編集委員会の閲読意見などに対する回答は、原稿の中には記さずに、別紙にまとめる。
8. 原稿が最終的に受理又は却下されるまでは、上記の閲読作業を繰り返す。ただし、修正すべき内容に応じて、編集委員会の判断により、閲読者を追加又は変更することがある。また、修正すべき内容が軽微なもの又は技術的なものとどまる場合には、閲読者を1人にしたり、担当委員のみで対応したりすることがある。
9. この内規の改廃は理事会が行う。

## 著者の負担に関する内規

2012年4月

日本地理学会投稿規程第9条第1項及び第2項に定める著者の負担額を、次のように定める。

1. 別刷の負担額は、実費とする(16ページ150部で23,400円、12ページ100部で13,700円など)。
2. 超過ページの負担額は、超過1ページ当たり8,000円とする。
3. 海外在住の著者の負担額は、理事会が別に定めることができる。